



2009年10月7日

各 位

上場会社名 中外製薬株式会社
コード番号 4519 (東証 第一部)
本社所在地 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
代 表 者 代表取締役社長 永山 治
問い合わせ先 責任者役職名 広報 IR 部長
氏 名 千葉 暢幸
電 話 番 号 03(3273)0881

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、今年2月4日の平成20年12月期決算発表時に公表した平成21年12月期(平成21年1月1日～平成21年12月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(金額の単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	400,000	63,000	63,500	40,000	73.42円
今回修正予想 (B)	420,000	67,000	74,000	46,000	84.53円
増減額 (B-A)	20,000	4,000	10,500	6,000	
増減率 (%)	5.0	6.3	16.5	15.0	
(参考) 前期連結実績 (平成20年12月期)	326,937	51,563	57,265	39,264	72.07円

2. 修正の理由

9月までの新型インフルエンザ流行状況、当社新製品及び適応拡大品の動向等を勘案した結果、抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」、抗悪性腫瘍剤「アバスタチン」「ハーセプチン」、C型慢性肝炎治療剤「ペガシス」「コペガス」、関節リウマチ治療剤「アクテムラ」(海外売上分)等の通期の売上高予想を修正いたしました。

またこれら売上高予想の修正に加え、為替要因等に基づく原価率の悪化、販管費の進捗がやや遅れていること、第3四半期連結会計期間までに為替関連で発生した営業外収支等を反映し、通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、主要製商品別売上高予想の修正については添付の参考資料をご参照下さい。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、新型インフルエンザの流行状況等今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上

<ご参考> 平成21年12月期 通期 主要製商品別売上高予想の修正

(単位：億円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率(%)
製商品売上高	3,903	4,100	197	5.0
タミフルを除く	3,373	3,452	79	2.3
うち国内	3,097	3,152	55	1.8
がん領域	1,175	1,242	67	5.7
ハーセプチン	275	300	25	9.1
リツキサソ	206	212	6	2.9
アバスチン	290	336	46	15.9
ノイトロジン	126	120	△ 6	△ 4.8
カイトリル	103	93	△ 10	△ 9.7
ゼローダ	65	65	0	0.0
タルセバ	55	56	1	1.8
フェマーラ	26	26	0	0.0
その他	30	34	4	13.3
腎領域	619	619	0	0.0
エボジン	452	452	0	0.0
オキサロール	106	106	0	0.0
レナジェル	53	53	0	0.0
その他	7	7	0	0.0
骨・関節領域	585	589	4	0.7
エビスタ	181	181	0	0.0
アルファロール	134	136	2	1.5
スベニール	131	137	6	4.6
アクテムラ	96	96	0	0.0
その他	42	39	△ 3	△ 7.1
移植・免疫・感染症領域	301	283	△ 18	△ 6.0
ペガシス	130	123	△ 7	△ 5.4
コペガス	62	56	△ 6	△ 9.7
ロセフィン	62	58	△ 4	△ 6.5
セルセプト	44	45	1	2.3
その他	2	2	0	0.0
その他領域	417	417	0	0.0
シグマート	146	149	3	2.1
その他	271	268	△ 3	△ 1.1
うち海外	277	300	23	8.3
ノイトロジン	186	194	8	4.3
シグマート	20	20	0	0.0
アクテムラ	60	71	11	18.3
その他	12	15	3	25.0
タミフル	530	649	119	22.5
その他の営業収入	97	100	3	3.1
売上高 計	4,000	4,200	200	5.0
うち国内	3,697	3,872	175	4.7
うち海外	303	328	25	8.3

(注) 金額は億円未満を四捨五入しております。なお、増減および%は億円単位で表示された数字で計算しております。